

## 大学

福祉貢献学部 福祉貢献学科 社会福祉専攻

### 相談援助演習Ⅴ

末田 邦子 准教授

根拠のある支援を計画・実施できるよう  
社会福祉士の理論と実際を結びつける。

社会福祉専攻で1年次後期から開講される「相談援助演習」。社会福祉士に必要な相談援助の知識・技術を段階的に修得する専門演習であり、3年次後期の「Ⅴ」は学修の集大成となります。授業では児童福祉、母子福祉、障がい児福祉、障がい者福祉、高齢者福祉、医療福祉の6分野における多様な事例を取り上げ、適切な相談援助活動について学生主体でディスカッションします。辛さや困難を抱えた人に社会福祉士としてどう関わるのか、どんな支援が必要なのか。学生たちは論理的に意見を交わし、3年次の社会福祉士実習（相談援助実習）で得た多様な視点を共有します。指導教員の末田先生は「現代社会の幅広い観点から『根拠のある支援』を追求し、将来、福祉や医療の現場で多職種連携を進めてほしいと期待しています」と語り、学生が能動的に成長できるよう後押ししています。



# 愛知淑徳の授業

生徒・学生の意欲に応え、一人ひとりの可能性を広げる愛知淑徳学園のさまざまな授業を紹介いたします。

## 高等学校

愛知淑徳高等学校

### 美術

今川 考司 教諭

ものづくりの喜びを味わいながら  
「自分で考える力」を磨いてほしい。

美術の授業では、絵画や立体造形などの創作活動に生徒が主体的に取り組み、ものづくりの喜びを味わいながら、芸術や文化、多様な個性を大切にする心を磨きます。愛知淑徳高校では選択科目の一つであり、美術が好きな生徒が意欲的に受講しています。この日、高1の生徒たちが熱心に制作していたのは、木彫パズル。それぞれ、動物、植物、人体、文字など多種多様な絵柄を自分で考案し、電動糸ノコ盤でピースを切り出していました。その光景は、担当教員の今川考司先生が目標とする「自ら考える力」工夫して課題を乗り越える力を養う授業そのもの。「生活で使うもの全ては誰かが考案、デザインしたものであり、私たちは知らず知らずのうち美術に触れています。美術の授業を通じて、社会に関心が持てるような取り組みを追求しています」と語る今川先生は、生徒一人ひとりの自由な発想を引き出し、創造の楽しさを伝えていました。

